
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 4 回「図書館、読書と私」

北部医療センター病院長 / 落合登志哉

.....

【2】 --- 「PubMed 京都府立医科大学専用入口」を使っていますか？

.....

【3】 --- 医書.jp の不適切な利用について

.....

【4】 --- 「古本募金」10%上乘せキャンペーンは 10/1(金)まで

.....

【5】 --- ご自由にお持ち帰りください

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 15 弾 第 4 回「図書館、読書と私」

北部医療センター病院長 / 落合登志哉

.....

電子書籍が増えている。Kindle や Booklive など会員になることで書籍やコミックなどスマホや iPad ひとつで際限なく読むことが出来る。電子書籍は字の大きさやバックライトの明暗も自由に変えられるため、老眼が進んだわが目にも優しい(筈)。また、書籍ではないけれど論文検索は早い段階から Pubmed や MEDLINE になり、図書館で文献の Reference をみながら孫引きして、コピー台に走ることやまして製薬会社のプロパーさんに頼むといったことはとっくになくなってしまった。しかし、しかしである、自分は昭和の名残りと笑われるかもしれないがあの本そのもの、そして雑誌が好きなのである。様々な装丁、紙の手触り、インクや時に時間のたった何とも言えない古い匂い、それらすべてが好ましい。そして、それらが整然と書架に並んでいる図書館という場所に何とも言えない静けさと安らぎを覚える。

図書館と本との出会いはおそらく、小学校の時に通った仙台市の市営図書館であった。一回に 3 冊借りられるその図書館でファール昆虫記やシートン動物記を借りて、将来を夢

見たこと（つまり医師になることではなかったのだが。）も懐かしい思い出である。中学生になって、文庫本というものを読むようになった。小さな文字でポケットにも入る。それだけで大人になった気がしたものである。北杜夫や遠藤周作から始まり、井上靖や司馬遼太郎、新田次郎といった作家の作品を次々読んだ。海外作家の作品は翻訳ものでこれは訳者の主観が入ってしまうのではないかと余り好まなかった。電子書籍より紙書籍で読んだ方が内容が定着しやすいとのノルウェーの研究データもある。紙書籍の持つ個性が記憶に残りやすいせいであろうか。自分の現在書く文章の核のようなものがこうした紙書籍の読書からできたように思える。

電子書籍と紙書籍の良し悪しは縷々言われているがそれもまた電子媒体から簡単に得ることが出来る。こうした電子空間に残された文章は紙に書かれたものとは異なり、永遠に残り続ける。勿論誰かがそれを見つけ出し読むということがあってだが。そうした電子媒体に綴られた文章の数々（ブログ）は書籍や出版とは違うが読む人が増えることで利益を得ることもでき、エッセイの出版にかなり近いと感じる。でも自身の財布がいたむことはなく、やはりすこし有難味がすくないか。と、こうして書いている我が駄文も図書館メール News に載せてもらった時点で後世に残り続けるのであろうか。（かなり恥ずかしい。）

幼少期に電子書籍に出会っていたらまた違った感想を持つのかも知れないし、紙・電子書籍はその長所で使い分けるのが妥当なのであろう。しかし、自分の読書は本の内容もさることながら、その時々自分の思いと重なっている。中学生時代の思春期の悩みの裏に下村湖人や五木寛之があった。高校時代、生き方に迷った時、石川達三や吉川英治あるいは小説ではないが今西錦司に傾倒した。聖書や仏典が電子書籍であったら、これほど世界に広まったであろうか。紙書籍という唯一の実体が布教に一役買っていたのは間違いないと思うし、自分の思いに寄り添う書籍はまた紙という実体が備わっていたがゆえに忘れがたいのだと思う。また、大学時代、図書館は読書というより勉強する場所であったが夏の午後、冷房の効いた静謐な空間、特に古い書籍が並ぶ地下の一角がお気に入りであった。（あれっ、地下は冷房してなかったかな。）このコラム集でも書き手が同年代のせい、紙書籍、図書館に愛着を感じている先生が明らかに多い。

太古の昔、ロゼッタストーンに書かれた物語がパピルスに書かれるようになったようにいずれ書籍は全て電子媒体にかわるのだらうと思う。そうなると図書館はその役割を変え、古い紙書籍のいわば博物館として存在するようになるのであろうか。もしそうだとすると我々の遠い後輩たちが電子書籍を抱えて我々と同じような豊かな時間を図書館で過ごすことを切に望む。そして、その傍らの書庫には、ふと手に取ってぱらぱらとページをめくる、そうした価値のある紙書籍がすこしは残っていてほしい。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 「PubMed 京都府立医科大学専用入口」を使っていますか？

NLM(米国国立医学図書館)が作成する「PubMed」は無料で提供されています。検索サイトからアクセスし、利用可能ですが、本学の所属者は、ぜひ「[PubMed 京都府立医科大学専用入口](#)」から利用することをおすすめします。

本学専用入口から利用すると、PubMed の結果詳細「Full Text Links」に出版社アイコンと共に「FindFullText 京府医大」アイコンが表示され、本学リンクリゾルバーSFX が展開します。(SFX 例)

ここでは論文情報として

- ・ 本学で購読中か否か、
- ・ 記事全文へのアクセス、
- ・ 学外から利用するシボレス認証対応の可否
- ・ 冊子所蔵状況

が表示され、本学で読めない場合にも

- ・ コピー取寄せの手続き

へスムーズにリンクします。また、タブを変えると文献の関連情報として

- ・ EndNote にエクスポート
- ・ 論文の引用状況(Scopus)を確認
- ・ 該当の雑誌のインパクトファクター(JCR)を調査
- ・ 著者情報(ResearchGate)をチェック

することが可能です。PubMed 京都府立医大専用入口は、[図書館ホームページ](#)に設置しているアイコンから、常にご利用いただけます。

【3】 --- 医書.jp の不適切な利用について

現在トライアル中の「[医書.jp](#)」について、9/16(木)8:00 と 20:00 の2度、本学の利用が停止されました。電子ジャーナルを利用する際、大量の文献 PDF ダウンロードは禁止されています。8/8(日)-9(月祝)の3度の警告に引き続き、本学の不適切利用によるダウンロードの停止は5回を数えます。

「医書.jp」の場合、具体的には、以下の場合に利用が2時間ストップされます。

- ・1回のログインの中で、150以上の文献をダウンロードした場合
- ・1回のログインの中で、360分以上継続利用している場合
- ・5分以内に150回以上。ログインがされた場合
- ・1分間に1つのIPアドレスから1000以上のアクセスがあった場合

出版社は常に利用状況を監視しており、上記の違反行為があれば直ちに停止され、大学全体で利用できなくなります。くれぐれも適切なご利用をお願い申し上げます。

<医書.jp オールアクセス> トライアル

国内出版社 12社 94誌の電子ジャーナルをトライアルで提供中です。※学内限定

◆アクセス先：<https://webview.isho.jp/journal>

◆トライアル期間：2021/9/30まで

【4】 --- 「古本募金」10%上乗せキャンペーンは10/1(金)まで

.....

本で寄付する「[KPUM 図書館サポートプロジェクト 古本募金](#)」では、ただ今、査定が寄付金額の10%上乗せになるキャンペーンが実施されています。

この機会に不用になった本やCD,DVD等をぜひ寄付してください。

期間：2021/9/1(水)-10/1(金)

方法：大学内に設置している回収箱か、集荷にて御寄付ください。

寄付になる本：

- ①2011年以降に出版された本、CD、DVD/書き損じはがき
- ②ISBNがついている本

※一部専門書は出版年に関わらず値がつく場合がございます。[お試し査定](#)で、事前に査定可能な本が仕分けできます。

「KPUM 図書館サポートプロジェクト古本募金」は皆様からいただく私物の書籍やDVD等を所定の方法で売却しその査定額を大学にご寄付いただく、本を使った募金活動です。

【5】 --- ご自由にお持ち帰りください

.....

「古本募金」でご寄付いただいた書籍のうち、お試し査定で、値段がつかないと判断されたものを、図書館前のブックトラックに配架し、自由にお持ち帰りいただいています。

小説やマンガ、文庫本などラインナップは常に入れ替わっています。図書館開館時間にお立ち寄りください。

[Book Review]

.....

青柳碧人著「むかしむかしあるところに、死体がありました。」(双葉社 2019年)

「むかしむかしあるところに」と始まる昔話は、「おじいさんとおばあさんが住んでいました。」と続くのが定番。ところが、めでたしめでたしで終わるはずの昔話で起こる殺人事件。

あの一寸法師が殺人事件の容疑者に！事件の時刻には鬼の腹の中で刀を突き立て、鬼を懲らしめていたという。果たしてアリバイは証明されるのか？

その他に4つの昔話で事件が起きる。事件の裏には、めでたいはずの昔話の人間にもひそむ悪の心。さて、事件を解決してめでたしめでたしとなるのか？(Y.N.)

(京都市中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」でも貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <http://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4575241660>

.....

図書館メール News 第448号 2021.9.17 発行(隔週金曜日発行)

編集・発行 : 京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/websevice/mailnews.html>